

# 定員増員のお知らせ

いつもお世話になっております。

さて、「幾何公差の解釈と測定技術」につきまして、受講希望者多数のため、定員増員いたしました。

M1233 幾何公差の解釈と測定技術 11/29~11/30

M1234 幾何公差の解釈と測定技術 2/28~2/29

両コースとも、定員 12 名のところ 20 名に増員しました！

機械設計 — 設計の実践		定員 12人	日数 2日間
<b>幾何公差の解釈と測定技術</b>		受講料 (税込)	24,500円
<b>訓練内容</b>	コース番号	日程	
コスト高に繋がる誤った幾何公差の図面記入を無くし、製品の機能を充たし加工・測定において最適な幾何形状の指示ができることを目的として、主要な幾何公差の解釈と測定技術のポイントを習得します。	M1231	4/19(水),4/20(木)	
1. 幾何偏差と幾何公差	M1232	8/30(水),8/31(木)	
(1) 主な幾何偏差の意味と幾何公差域 (2) 幾何公差の図面指示の留意点	M1233	11/29(水),11/30(木)	
(3) データムの考え方と図面指示の原則	M1234	2/28(水),2/29(木)	
2. 主な幾何公差の図示と解釈	定員増員しました！ M1233, M1234の2コースを 定員12名→20名に増員		
(1) 形状公差 (真直度・平面度・真円度・円筒度)			
(2) 姿勢公差 (平行度・直角度・傾斜度)			
(3) 位置公差 (位置度・同軸度・対称度)			
(4) 振れ公差 (円周振れ・全振れ)			
3. 加工・測定と幾何公差との関わり			
(1) データムの設定と加工誤差との関連 (2) 幾何公差域の解釈と加工誤差			
(3) 加工方法による幾何偏差への影響 (4) 幾何公差の図面指示と測定誤差			
4. 主要な幾何偏差の測定技術			
(1) 水準器による真直度の測定技術			
(2) 直径法・三点法・半径法による真円度の測定技術			
(3) 定盤基準による真直度・平面度・直角度の測定技術			
(4) 直角度・位置度・円筒度の解釈と三次元測定機による測定法の問題点			
5. まとめ			
<b>担当講師</b>	持参品		
中村 哲夫 (CDT研究所)【予定】	関数電卓		